

令和7年度 第3回 政策決定会議 会議録

◆開催日時：令和7年11月18日（火） 10：18～10：34

◆開催場所：市長公室

◆出席委員：佐野市長、藤浪副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長

◆説明者：田中企画課長、大山分権担当主幹、新原担当員

◆審議事項

令和8年度における組織機構の編成について・・・・・・・・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案の修正を前提とした上で承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈藤浪副市長〉成長戦略課の事業推進担当、ふるさと創生担当の名前は、若い職員のアイデアも活かし、PRも含めて何かインパクトのある面白い名前にするよう、ぜひお願いしたい。

〈分権担当主幹〉課内でも検討を進めている。

〈岸副市長〉再編案の作成や調整はかなり大変だったと思う。市民の方にわかりやすい形で考えてもらっているが、今後の再編も含めて、職員が力を発揮しやすい環境づくりという視点も加味しながら、再編に取り組んでもらいたい。

〈教育長〉企画課の調整担当、政策担当と、成長戦略課の事業推進担当の役割分担はどう変わるのか。

〈分権担当主幹〉企画課の調整担当は、現行の企画担当と分権担当を統合する形になり、組織機構や自治基本条例等に取り組むことになる。政策担当が総合計画の進捗管理、行政経営のPDCAを回していく形になる。成長戦略課の事業推進担当は、市長の特命事項を受けたところの企画や調整事項、各課で取り組む事業の「岸和田をよくするための4本柱」「岸和田の未来投資戦略」に関わる部分を支援するという形を考えている。

〈教育長〉仕事の仕分けで、明確に線を引くのは難しい。特に官房系の仕事は輻輳するので、そのあたりは部長に差配してもらい、成長戦略課の事業推進担当は部局横断的に、全庁の総合調整や企画立案にも関わってもらえたらと思う。

もう1点気になったのは、法人移行準備課の廃止ということの説明や組織図を見ると、法人移行の話そのものがなくなったという印象を受けるところである。今の方向性というのは、法人移行も含めた経営体制の強化ということを検討していくのかということを確認しておきたい。地域医療維持・経営体制強化担当と、「体制」を入れることによって、独法化や民営化、いろいろな手法も広く検討するというニュアンスも出てくる。

〈市長〉まず経営形態ではなく、地域医療をどう維持していくのということを念頭に置いている。その中で、財政をどうするのということも考えていかなければならないと思う。

- 〈教 育 長〉公立病院の役割とは何か、民間とのすみ分けをどうするのか、その上で市民にいかに関与していくかということをもまず検討する。その上で必要な体制はどうなるのかというところである。
- 〈市 長〉経営を強化しないと医療は維持できない。そこにしっかり着目していくような担当というところで体制を考えたところである。
- 〈教 育 長〉段階を追ってまず来年は内容の充実を考え、そこをしっかりと固めた上で次年度以降に体制を検討するということであれば、この内容でよいと思う。
並行して体制を検討するのであれば、少し主体となるものをどうするのかという議論もしておかないといけない。発展性が全く閉ざされてしまうということに、非常に危機意識を覚えるので、一番避けたいのは、今までの組織を守るという印象を持たれることである。
- 〈市 長〉市単独でこの地域医療を維持できるのであれば、それに越したことはない。市民病院のままであればよいと思う。
- 〈分権担当主幹〉担当名は仮称である。市民病院にも現状で経営強化の担当があり、お話のあった地域医療の維持というところで、名称を併記している。担当名は病院事務局においても検討中ということなので、加えて「体制」という部分についても考える。
- 〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認する。

令和7年 10 月 31 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和8年度における組織機構の編成について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	「今後の組織・機構編成の方針」(令和元年度改訂)に基づき、本市がめざすまちづくりの方向性を実現するため、効果的・効率的に業務を執行できるよう令和8年度の組織機構の編成案について付議するものです。
説明者 (部長は説明者に含まない。)	田中 企画課長 大山 分権担当主幹 新原 担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和7年度 第3回会議
付議事項	令和8年度における組織機構の編成について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	行政サービスを適切に提供するため、効果的かつ効率的な組織編成を行う。

★総合計画上の位置付け

6020203	基本目標	みんなでつくる持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	合理的な組織編成と適正な人員管理に努める

★現状と課題

本市の組織機構については、「今後の組織機構編成方針」(令和元年度改訂)に基づき、新庁舎の完成を見据えつつ、社会情勢の変化や市民ニーズに応えるため、随時の見直しを行ってきた。
令和8年度において、子ども家庭応援部の分掌事務の追加(総合計画の重点目標に掲げる子育てしやすい岸和田の実現)などに加え、本市の重要施策を推進し、早急に着手すべき課題に対応し、本市がめざすまちづくりの方向性を実現するため、効果的かつ効率的に業務を遂行できる組織機構について検討している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名						目標値				
						R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。